

事前課題 2 (レスキュープランニングトレーニング)

以下の想定に基づいてレスキュープランニングワークシートを作成してください。

想定

1 通報内容

(1) 通報日時

令和6年10月15日午後0時30分

(2) 通報状況

遭難者の同行者が大辻山山頂から携帯電話で通報。

(3) 通報内容

大辻山から下山中に白岩川ルートの上で足を滑らせ転倒した。その際、右足首を捻り（骨折疑い）自力歩行不能となった。

(4) 遭難者情報

65歳女性。白岩川コースから日帰りで大辻山を登山予定。ピンク色のレインウェア着用。赤色ザック。同行者1名（68歳女性※この方が通報者）。

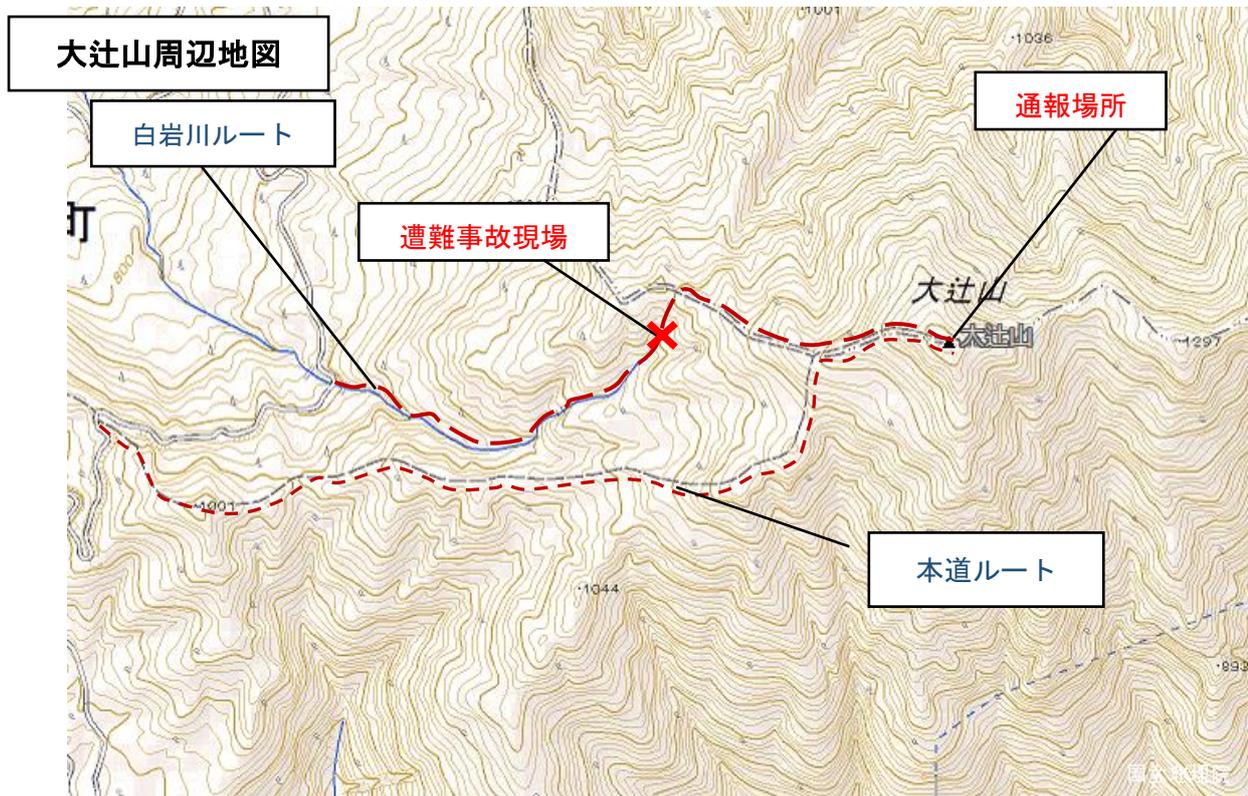
2 現場状況等

- ・天候は曇りで時折小雨が降っている。現場周辺はガスに覆われている。白岩川はほとんど増水していない。天気予報によると同日午後4時半頃に天候が回復する。
- ・救助隊の待機場所から登山口までの所要時間は車で約1時間。
- ・防災ヘリ、県警ヘリ、自衛隊ヘリ等が出動待機中。
- ・「白岩川ルート」は無線不感地帯。
- ・「本道ルート」は無線の電波圏内。白岩川ルートと本道ルートはハンディ無線で交信可能。
- ・日中の気温は大辻山山頂周辺で10～15℃程度。夜間の気温は一桁台まで冷え込む。

3 救助隊想定等

- ・あなたは現場リーダーです。
- ・現場出動できる隊員はあなたを含め8名。山岳救助経験が豊富なサブリーダーが1名、他は経験の浅い隊員が6名。
- ・必要な装備資機材は全て揃っています。
- ・救助ヘリコプターとの連携も可能です。

裏面へ続く



※大辻山のルートやコースタイムについては各自お調べください。

レスキュープランニングワークシート作成要領

- 1 通報受理時の通報者への指示
 救助要請を受けた際に通報者に対して指示する事があれば記載してください。
 Ex: 救助隊員が到着するまで通報場所に留まること。また、レインウェアやツェルト等を活用し風雨から身を守ること。 or 遭難事故現場へ戻り遭難者に応急処置を行うこと。等
- 2 救助プラン・救助チームの編成
 遭難者へのアプローチルートや搬送ルート、搬送方法、サブプラン等、あなたの考える救助プランを書いてください。救助チームを2チーム以上に分けて活動する際はその人数や役割等についても記載してください。
- 3 その他
 救助ヘリとの連携や無線通信の確保、ビバークになった場合の対応等、気が付いたことがあれば書き出してください。
- 4 KY (危険予知) 訓練
 救助活動時の「考えられる危険」「原因」「安全対策」について書き出してください。
 Ex: 「増水」／「降雨」／「雨量が増した場合は白岩川へ入らない」
 「落石」／「不安定な石に触れる」／「ヘルメットの着用」 等
- 5 救助装備
 必要な救助装備について書き出してください。

※上記の作成要領は例示です。記載内容を限定するものではありませんので自由な発想でワークシートを作成してください。